

令和元年度  
いくしあのあゆみ



令和2年9月

尼崎市子どもの育ち支援センター



## はじめに

子どもの育ち支援センター「いくしあ」は、日々の暮らしのなかで課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に寄り添い、福祉・保健・教育等が連携しながら、子どもの成長段階に応じて、切れ目なく総合的な支援を行う施設として、令和元年10月に開設いたしました。

「いくしあ」では、身近な子育て相談から専門的なことまで、子どもに関するあらゆる相談を受け、一緒に考え、情報提供や助言などを行う「総合相談」、様々な課題を抱えた子どもや、虐待など子育て家庭の課題に対応する「家庭児童相談」、発達や行動で気になることや困りごとを持った子どもとご家族等を対象に、医師や保健師、心理士などの専門職が対応する「発達相談」、不登校・集団になじみにくいなど教育に関する様々な悩みに対応する「教育相談」、といった子どもとその家族に対する相談支援をワンストップで行うとともに、支援を必要とする家庭等への訪問、発達に関する診断、教育支援室の運営など、課題を抱える子どもとその家族に対して、切れ目のないきめ細かな対応や予防に日々取り組んでおります。

また、近年、社会的な問題にもなっている「ひきこもり」について、長期化・重篤化を防止するため、概ね15歳から29歳までの青少年とその保護者を対象とした、「ユース相談支援事業」を青少年部門より引継ぎ、令和2年4月より新たにいくしあの業務として実施しております。

今年3月以降、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う、学校園の休校、公共施設の利用停止、外出自粛要請等により、親子が長時間、長期間にわたり在宅する状態となり、家庭内における児童虐待やDVなどが発生するリスクが高まっているのではないかと感じています。

そのため、「いくしあ」として、ストレスや悩みを抱える子どもたちや保護者にこのようなときこそ寄り添い、「子どもファースト」「縦の連携」「横の連携」をコンセプトに持ちつつ、引き続き伴走型の支援をしてまいりたいと考えております。

子どもの育ち支援センター いくしあ  
所長 木崎 貴則

# 目次

<b>1</b>	<b>尼崎市子どもの育ち支援センターいくしあとは</b> .....	<b>3</b>
<b>2</b>	<b>尼崎市子どもの育ち支援センターいくしあの概要（いくしあ推進課）</b> .....	<b>4</b>
	（1）沿革 .....	4
	（2）施設概要 .....	4
	（3）建物概要 .....	4
	（4）組織（令和2年4月現在） .....	5
	（5）所管事務の概要 .....	5
	（6）職員数（令和2年4月1日現在） .....	6
<b>3</b>	<b>総合相談（こども相談支援課）</b> .....	<b>6</b>
	（1）総合相談概要 .....	6
	（2）相談件数 .....	6
	（3）サロン利用件数 .....	7
	（4）読み聞かせ会実績 .....	7
<b>4</b>	<b>家庭児童相談（こども相談支援課）</b> .....	<b>7</b>
	（1）家庭児童相談概要 .....	7
	（2）相談種別受付（総合相談＋家庭児童相談 新規対応件数） .....	7
	（3）ショートステイ利用実績 .....	8
<b>5</b>	<b>要保護児童対策地域協議会運営事業（こども相談支援課）</b> .....	<b>8</b>
	（1）尼崎市要保護児童対策地域協議会 .....	8
	① 構成機関 .....	8
	② 調整機関 .....	9
	③ 事業実績 .....	9
<b>6</b>	<b>発達相談支援（発達相談支援課）</b> .....	<b>10</b>
	（1）発達相談支援概要 .....	10
	（2）発達相談診察件数（月別・初診再診別）.....	10
	（3）診断件数（令和元年10月～令和2年3月） .....	10
	① 年齢別（男女別実人数）.....	10
	② 診断名別（診断修了者82名） .....	10
	（4）専門職相談 .....	11
	（5）子ども支援教室 .....	11
	（6）ペアレントトレーニング（「あまっこいきいき講座」） .....	12
	（7）子育て相談会（「ほっと、いくしあ」） .....	12
	（8）施設支援事業実績 .....	12
	（9）ティーチャーズトレーニング .....	13
<b>7</b>	<b>教育相談・不登校の子ども支援（こども教育支援課）</b> .....	<b>13</b>
	（1）教育相談 .....	13

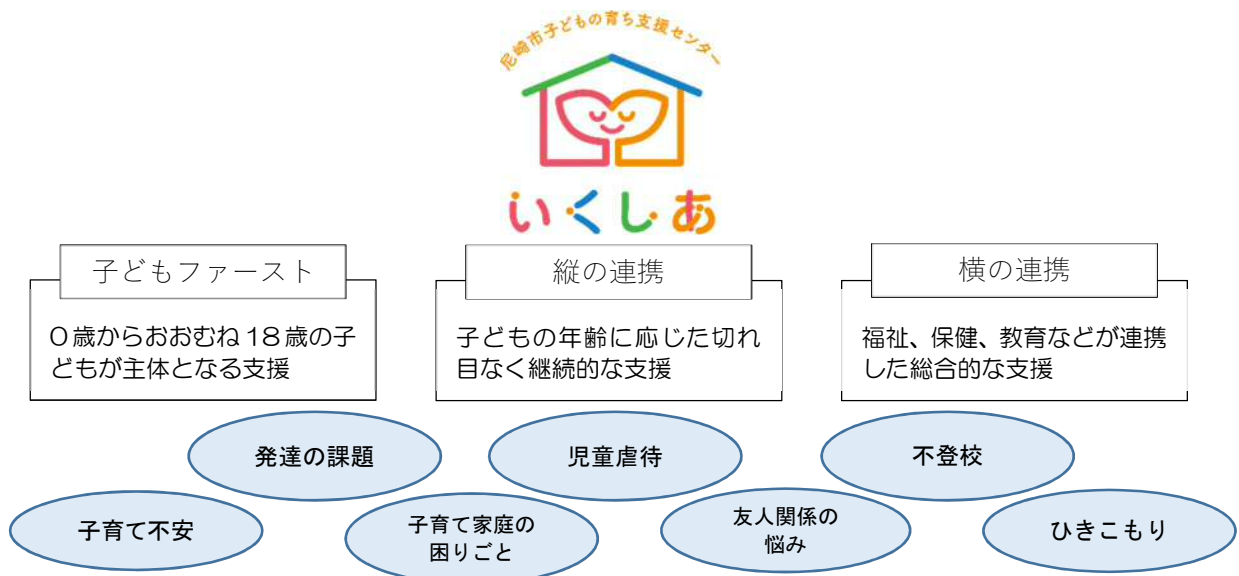
① 月別（電話・面接別）実績.....	13
② 種別（電話・面接別）（令和元年度）.....	13
③ 校種別（電話・面接別）.....	14
(2) スクールソーシャルワーカー（SSW）の活動.....	14
(3) 匿名報告アプリ.....	14
① 事業開始日.....	14
② 登録数.....	14
③ 対応件数等.....	14
④ 対応内容.....	15
(4) 不登校対策推進事業.....	15
(5) ハートフルフレンド.....	15
(6) 教育支援室（ほっとすてっぷ）.....	15
(7) 民間団体との連携.....	15
<b>8 子どもの育ち支援システムの運用（いくしあ推進課）.....</b>	<b>16</b>
<b>9 その他（いくしあ推進課）.....</b>	<b>16</b>
(1) いくしあシンポジウム.....	16
(2) いくしあオープン会議.....	17
(3) いくしあ専門家会議.....	17
(4) ネットワーク構築事業.....	17
(5) 市政出前講座等.....	18
<b>10 まとめ.....</b>	<b>19</b>
<b>【参考】.....</b>	<b>21</b>
<b>1 いくしあ来館者アンケート調査結果.....</b>	<b>21</b>

# 1 尼崎市子どもの育ち支援センターいくしあとは

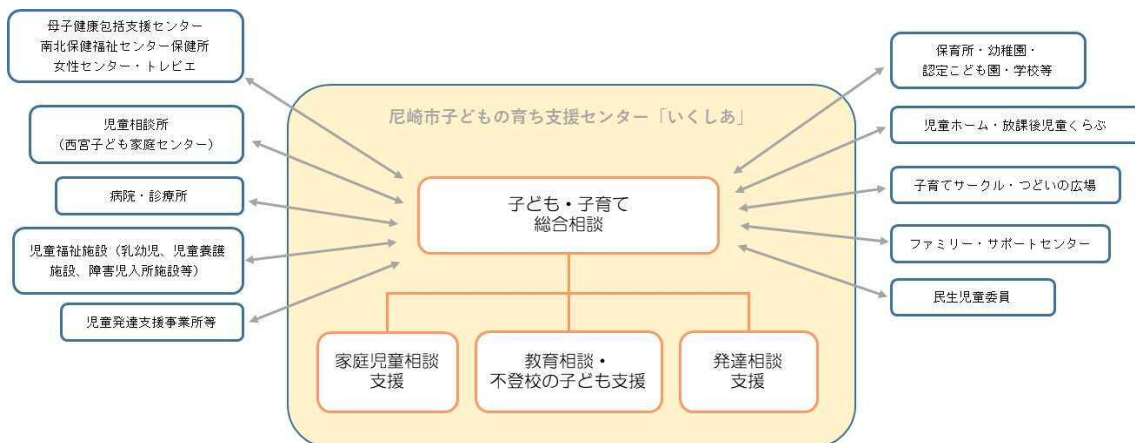
尼崎市子どもの育ち支援センター「いくしあ」は、児童虐待の相談件数の増加、いじめ、不登校、集団不適應に悩む子どもの増加、発達障がいやその疑いのある子どもの増加など、子どもや子育て家庭を取り巻く状況が多様化・複雑化、深刻化してきていること、単独機関での対応・解決が困難なケースが増加し、年齢の切れ目のない総合的な支援ができていないといった背景から、組織分野にとらわれず幅広い相談に対応し、児童虐待や不登校、発達障がいなど、日々の暮らしの中で課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に寄り添い、支えるための総合施設として開設した。

「いくしあ」は、0歳からおおむね18歳の子どもの年齢に応じた切れ目のない支援、福祉、保健、教育などが連携した総合的な支援を実施している。

## 「いくしあ」のコンセプトと特徴



主に悩みや心配ごとのある子どもや子育て家庭を対象とした総合相談窓口としつつ、身近な子育て相談も含め幅広い相談に対応している。



## 2 尼崎市子どもの育ち支援センターいくしあの概要（いくしあ推進課）

### (1) 沿革

平成 27 年	12 月	旧聖トマス大学の施設活用と整備の方向性策定 ※平成 27 年 3 月：聖トマス大学閉校後、敷地と施設の一部を市へ譲渡
平成 28 年	3 月	第 3 期尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画策定 (尼崎市総合計画の部門別計画として、また尼崎市子どもの育ち支援条例の推進計画として位置付け。)
平成 28 年	4 月	子どもの育ち支援センター準備担当設立
令和元年	10 月	尼崎市子どもの育ち支援センター「いくしあ」開設
令和 2 年	3 月	第 4 期尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画策定

### (2) 施設概要

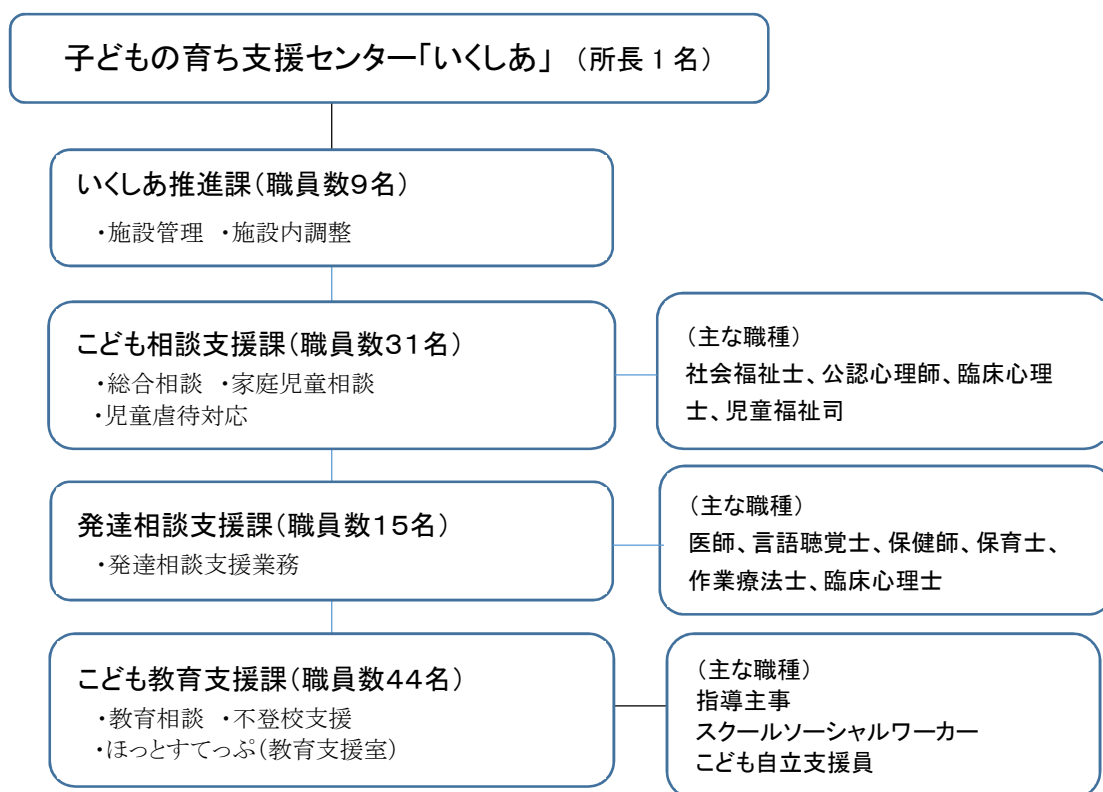
尼崎市子どもの育ち支援センター「いくしあ」は、児童福祉法第 10 条の 2 に基づいて設置された市町村子ども家庭総合支援拠点であり、児童虐待や不登校発達障害など、日々の暮らしのなかで課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に寄り添い、支えるための総合施設。主な業務としては次のような業務を行っている。

- 児童専門のケースワーカーや医師などの専門職を配置し、子どもに関する、家庭その他からの相談に対し、寄り添い支援を行う。
- 組織分野にとらわれず幅広い相談に対応し、支援歴の情報を一元的に管理することで切れ目のない支援を行う。
- 不登校の児童生徒など、多様な状況をサポートし、学校とともに課題に対応する。
- さまざまな関係機関、民間団体と協力・連携して支援を行う。
- 発達の不安などについての相談に対応し、心理検査や診察を通して支援につなぐなど、必要な支援を行う。

### (3) 建物概要

所在地	尼崎市若王寺 2 丁目 1 8 - 6	
建築面積	約 7 8 2 m <sup>2</sup>	
建物延床面積	約 2, 0 3 1 m <sup>2</sup> (1 階 約 7 3 4 m <sup>2</sup> 、 2 階 約 7 0 8 m <sup>2</sup> 、 3 階 約 5 8 9 m <sup>2</sup> )	
構造	鉄筋コンクリート造・3 階建	
施設の概要	1 階	受付兼相談室、相談室 (大) (2)、相談室 (小) (6)、相談室兼カフェレンス室 (2)、親子相談室、応接室、待合室、授乳室
	2 階	地域交流室、感覚統合室、プレイルーム、幼児支援教室、観察室、カウンセリング室、受付、事務室
	3 階	適応指導教室、診療室、保健室、プレイルーム (箱庭)、発達検査室、保護者室・研修室、心理療法室
利用時間	月曜日から金曜日 (祝日除く) 9 時から 17 時 30 分	

(4) 組織（令和2年4月現在）



(5) 所管事務の概要

子どもの育ち支援センターいくしあ

【いくしあ推進課】

- ・子どもの育ち支援センターの運営等に係る企画調整
- ・子どもの育ち支援システムの維持管理
- ・ひきこもり青少年への支援に係る事業の企画立案・実施
- ・その他、いくしあ内他課の業務に属さないこと

【こども相談支援課】

- ・子ども・子育て総合相談及び利用者に係る支援に関すること
- ・要保護児童対策地域協議会に関すること
- ・要支援児童、要保護児童に係る相談に関すること

【発達相談支援課】

- ・発達相談支援業務の企画調整、実施に関すること

【こども教育支援課】

- ・長期欠席の児童及び生徒の支援に関すること
- ・教育相談の調査及び研究に関すること
- ・教育相談の指導及び助言・実施に関すること



(6) 職員数（令和2年4月1日現在）

課名	常勤					行政 事務員	行政事務 補助員	計
	所長	課長	参事 (医師)	事務	専門職			
子どもの育ち支援センター 所長	1	-	-	-	-	-	-	1
いくしあ推進課	-	1	-	5	2	1	1	10
こども相談支援課	-	1	-	1	19	10	1	32
発達相談支援課	-	1	1	1	8	4	-	15
こども教育支援課	-	1	-	1	5	37	-	44
合計	1	4	1	8	34	52	2	102

※いくしあ推進課常勤事務5名のうち2名、認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイスへ研修派遣（令和2年4月～9月に1名、令和2年10月～令和3年3月に1名）、専門職2名、西宮こども家庭センターへ派遣（令和2年4月～令和3年3月）

※こども教育支援課の専門職は指導主事

3 総合相談（こども相談支援課）

(1) 総合相談概要

子どもや子育て家庭の相談をワンストップで受け止め、子どもの年齢に応じた切れ目ない福祉、保健、教育等が連携した総合的な支援を実施するため、子どもの育ち支援センターいくしあにおいて総合相談窓口を開設し、専門の相談員が寄り添いながら課題等を整理、解決イメージを共有し、センターの専門職員等につなぐ。

(2) 相談件数

月別、新規継続別

月	新規		継続		合計	
	相談件数	内サロン	相談件数	内サロン	新規+継続	内サロン
10月	220	18	214	18	434	36
11月	163	10	270	13	433	23
12月	136	22	306	30	442	52
1月	132	26	303	41	435	67
2月	103	18	304	41	407	59
3月	52	2	467	17	519	19
合計	806	96	1,864	160	2,670	256

(3) サロン利用件数

月別、実人数・延べ人数別（こどものみ）

月	実人数	延べ人数
10月	48	75
11月	48	83
12月	65	116
1月	62	105
2月	45	79
3月	7	7
合計	275	465

(4) 読み聞かせ会実績

- 令和元年 12月 24日 クリスマス会（6組 16人参加）
- 令和2年 3月 3日 ひなまつり会（新型コロナウイルス感染防止のため中止）

4 家庭児童相談（こども相談支援課）

(1) 家庭児童相談概要

児童専門のケースワーカーが、課題を抱える子どもや子育て家庭からの相談に対応するとともに、子どもの育ち支援センター内の他の専門職員や関係機関とのコーディネーター役として、調整を行い、適切な支援に結びつける。

また、虐待予防などの観点から、関係機関からハイリスク家庭の情報を入手するなど、できるだけ早期にハイリスク家庭を把握し、支援を実施する。

子どもや子育て家庭に適切な支援が実施できるよう、官民間わず、様々な機関と連携し、そのためのネットワークづくりに努める。

(2) 相談種別受付（総合相談＋家庭児童相談 新規対応件数）

	養護相談		保健相談	障害相談						非行相談		育成相談				その他の相談	計
	児童虐待相談	その他の相談		肢体不自由相談	視聴覚障害相談	言語発達障害等相談	重症心身障害相談	知的障害相談	発達障害相談	ぐ犯行為等相談	触法行為等相談	性格行動相談	不登校相談	適性相談	育児・しつけ相談		
R1.4～ R1.9	575	49	0	0	0	2	0	3	17	4	7	23	13	1	25	76	795
R1.10～ R2.3	594	59	6	2	0	43	0	1	40	5	8	311	77	58	81	68	1,353
合計	1,169	108	6	2	0	45	0	4	57	9	15	334	90	59	106	144	2,148

(3) ショートステイ利用実績

保護者が病気や出産等で一時的に子どもの養育ができないときに、児童養護施設等で子どもを預かる。

【事業実績】

	疾病	家庭理由	育児疲れ	その他	合計
H30 年度	11	3	20	13	47
H31.4-R1.9	1	4	14	2	21
R1.10-R2.3	3	1	10	0	14

5 要保護児童対策地域協議会運営事業（こども相談支援課）

(1) 尼崎市要保護児童対策地域協議会

虐待を受けた子ども、非行、不登校などの要保護児童や保護者の支援が必要な要支援児童、特定妊婦の早期発見と早期対応を行うため、児童福祉法第 25 条の 2 第 1 項の規定に基づき、尼崎市要保護児童対策地域協議会を設置している。要保護児童対策地域協議会では、関係機関が要保護児童等の情報を共有し、支援の協議と役割分担を行い、よりよい支援が受けられるようにする。

① 構成機関

尼崎市	尼崎市以外
子どもの育ち支援センターこども相談支援課	兵庫県西宮こども家庭センター
子どもの育ち支援センターいくしあ推進課	兵庫県尼崎南警察署生活安全課
子どもの育ち支援センター発達相談支援課	兵庫県尼崎東警察署生活安全課
こども青少年部こども青少年課	兵庫県尼崎北警察署生活安全課
こども青少年部こどもの人権擁護担当	兵庫県警察本部少年育成課尼崎少年サポートセンター
こども福祉課	兵庫県立尼崎総合医療センター
保育児童部保育管理課	兵庫県阪神南県民センター
保育児童部こども入所支援担当	尼崎市立幼稚園長会
保育児童部保育運営課	尼崎市立小学校長会
保育児童部児童課	尼崎市立中学校長会
北部保健福祉センター北部保健福祉管理課	尼崎市立高等学校長会
北部保健福祉センター北部福祉相談支援課	尼崎市民生児童委員協議会連合会
北部保健福祉センター北部障害者支援課	社会福祉法人神戸婦人同情会子供の家
南部保健福祉センター南部保健福祉管理課	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会
南部保健福祉センター南部福祉相談支援課	社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団
南部保健福祉センター南部障害者支援課	尼崎市法人保育園会
北部保健福祉センター北部地域保健課	尼崎市子育てサークル実行委員会
南部保健福祉センター南部地域保健課	一般社団法人尼崎市医師会
保健部健康増進課	尼崎市私立幼稚園連合会
保健部疾病対策課	神戸地方方法務局尼崎支局
協働部ダイバーシティ推進課	尼崎人権擁護委員協議会
学校教育部こども教育支援課	
学校教育部いじめ防止生徒指導担当	
学校教育部学事課	
社会教育部社会教育課	
消防局救急課	

② 調整機関

こども相談支援課 家庭児童相談担当

③ 事業実績

【会議回数】

- 代表者会議 年1回開催
- 拡大実務者会議 1回開催
- 地区連絡会議 14回開催
- 個別ケース会議 随時開催

【要保護児童の状況】

相談種別

	虐待	養護	保健	障害	非行	育成	その他	合計
平成 29 年度	2,321	26	0	1	16	10	49	2,423
平成 30 年度	2,505	21	0	2	7	6	25	2,566
平成 31 年度	2,605	24	0	3	4	9	64	2,709

虐待種別

	身体		ネグレクト		心理的		性的		合計
平成 29 年度	340	14.6%	1,544	66.5%	431	18.6%	6	0.3%	2,321
平成 30 年度	376	15.0%	1,699	67.8%	425	17.0%	5	0.2%	2,505
平成 31 年度	380	14.6%	1,824	70.0%	396	15.2%	5	0.2%	2,605

主たる虐待者

	実父		実父以外の父		実母		実母以外の母		その他		合計
平成 29 年度	530	22.6%	37	1.6%	1,736	73.9%	5	0.2%	40	1.7%	2,348
平成 30 年度	550	22.0%	30	1.2%	1,890	75.4%	4	0.2%	31	1.2%	2,505
平成 31 年度	534	20.5%	22	0.8%	2,010	77.2%	6	0.2%	33	1.3%	2,605

被虐待児年齢

	3歳未満		3歳～ 就学前		小学生		中学生		高校生等		合計
平成 29 年度	349	15.0%	584	25.2%	813	35.0%	362	15.6%	213	9.2%	2,321
平成 30 年度	373	14.9%	639	25.5%	846	33.8%	394	15.7%	253	10.1%	2,505
平成 31 年度	368	14.1%	655	25.1%	873	33.5%	416	16.0%	293	11.2%	2,605

## 6 発達相談支援（発達相談支援課）

### (1) 発達相談支援概要

発達や行動での気になることや困りごとを抱える子どもや保護者の相談に対応し、必要に応じて発達検査や診察を通じて、子どもへの理解を深め、必要な支援につなげる。

また、保育施設、幼稚園、学校等へ専門職員を派遣し、対象児童の観察を通じて、子どもの発達や特性等に応じた支援方法についての提案や子どもとの関わり方などについて、アドバイス等を実施する。

子どもの発達特性等に関する情報を関係機関と共有し、子どもの成長段階に応じて切れ目なく支援が行えるよう関係部署との連携を図り、保護者が養育上課題を抱えている場合は、いくしあの児童専門ケースワーカーとともに、支援を実施する。

### (2) 発達相談診察件数(月別・初診再診別)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診	18	32	28	19	22	19	138
再診	1	16	20	25	17	13	92
合計	19	48	48	44	39	32	230

### (3) 診断件数（令和元年10月～令和2年3月）

#### ① 年齢別(男女別実人数)

	就学前	小1-3	小4-6	中1-3	高1-3	総計
男	26	31	22	12	2	93
女	12	20	9	3	1	45
計	38	51	31	15	3	138
構成	27.8%	37.0%	22.5%	10.9%	2.2%	100.0%

#### ② 診断名別（診断修了者82名）

	自閉 スペクトラム症	ADHD	知的障害	学習障害	その他
就学前	17	13	9	2	12
小1-3	12	13	6	8	5
小4-6	15	13	11	3	11
中1-3	4	2	4	3	8
高1-3	3	2	1	-	2
合計	51	43	31	16	38
構成	62.2%	52.4%	37.8%	19.5%	46.3%

## (4) 専門職相談

		就学前	小1-3	小4-6	中1-3	高1-3	総計
保健師	男	5	1				6
	女	3	1				4
心理士	男	6	4	6	1		17
	女	1	5	3			9
作業療法士	男	38	11	5	1		55
	女	8	1		1		10
言語聴覚士	男	31	7	1			39
	女	11	5	1			17
計		103	35	16	3	0	157
構成		65.6%	22.3%	10.2%	1.9%	0%	100.0%

## (5) 子ども支援教室

発達が心配な子どもや発達相談を受けた4・5歳児を対象に、「遊び」を通して身体の使い方や得意、不得意なところを観察し、子どもの持っている力を発見していく。また、保護者が子どもの得意、不得意なところを知り子どもの理解を深める。

## 【R1年度実績】

クール	上半期 7月～9月	下半期 12月～2月
対象・定員	年長児 10人	年中児 10人
参加者	9人 法人保育園 6、公立保育所 3 1名辞退(教育相談で対応)	6人 法人保育園 2、公立保育所 1、 私立幼稚園 3、
内容	個別支援 1回、集団支援 2回、フィードバック 1回	

## 【内容】

回数	個別支援 1回	集団支援 2回	フィードバック (個別)
活動内容	保育施設での普段の 子どもの様子を観察 担任からの聞き取り	・ルールのある遊び ・運動遊び ・自由遊び	個別支援と集団支援 から考えられる子ども の様子について保護 者や担任に伝える。
活動場所	各保育施設	上半期：教育・障害者 福祉センター 下半期：いくしあ	保護者の希望場所 (各保育施設等)
スタッフ	医師、保健師、保育士、作業療法士、言語聴覚士、心理士		

(6) ペアレントトレーニング（「あまっこいきいき講座」）

子育てに悩んだり、育てにくさを感じたりしている保護者を対象に、子どもへの関わり方や問題行動への効果的な対処の方法を学ぶ。

活動内容	2歳6か月から就学前の発達に特性のある子どもの保護者を対象として、子どもの行動観察の方法やほめ方を学ぶ
回数	1クール6回（年2回実施）
実施日・参加者数	令和元年5月30日～8月8日（尼崎市保健所） 11人 令和元年10月3日～12月12日（いくしあ） 8人
スタッフ	保健師、心理士、作業療法士、言語聴覚士（託児：保育士）

(7) 子育て相談会（「ほっと、いくしあ」）

発達相談につながるきっかけとして、子育ての困難さを感じている保護者を対象に相談会を開催する。

【R1年度実績】

活動内容	1. 子どもの発達や行動を理解するための講座 2. 個別相談
参加者数	4人（育てにくさを感じている保護者）
日時	令和2年1月25日（土）10:00～12:00
場所	大庄北生涯学習プラザ
スタッフ	保健師、心理士、作業療法士、言語聴覚士、保育士

(8) 施設支援事業実績

保護者の理解が整っておらず、各施設等の職員が子どもの対応に困難さを感じている場合に、専門職が施設を訪問し、関わり方の助言等を行う。また、取組を通して保護者や子どもが、いくしあの相談につながることを目指す。

【R1年度実績】

施設	公・私	訪問回数 (回)	対象児童数 (人)	いくしあへ繋がった児童数 (人)	いくしあへ繋がった児童数 (%)
保育所 ・ 園	市立	2	4	1	25.0
	法人	6	13	2	15.4
	計	8	17	3	17.6
幼稚園	市立	1	2	2	100
	私立	2	5	2	40.0
	計	3	7	4	57.1
小学校	市立	10	22	7	31.8
中学校	市立	0	0	0	0
総計		21	46	14	30.4

(9) ティーチーズトレーニング

子どもの対応に困難さを感じている小中学校の教諭や保育施設等の職員を対象に、子どもの行動観察や理解、対応の仕方について応用行動分析学による具体的な対処方法を提供し、改善の一助となることを目的とした講座を実施。

【R1年度実績】

実施回数	1クール（6回連続実施）
実施時期	令和元年10月～12月
受講人数	7人（内訳 小学校3人、中学校1人、保育士3人）
講師	NPO法人ラヴィータ研究所 理事長 米田 和子氏（特別支援教育士SV）

7 教育相談・不登校の子ども支援（こども教育支援課）

(1) 教育相談

市内在住、在学の4歳から18歳までの子どもに関する相談（面接相談・電話相談）を行います。

① 月別（電話・面接別）実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 元 年 度	電話	80	137	116	118	64	110	106	110	96	105	98	90	1,230
	面接	145	148	188	188	171	125	203	227	240	190	146	182	2,153
	計	225	285	304	306	235	235	309	337	336	295	244	272	3,383

② 種別（電話・面接別）（令和元年度）

相談種別	電話		面接		計		
	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月	総計
いじめ	6	2	3	1	9	3	12
不登校	144	241	299	627	443	868	1,311
学業・進路	73	56	135	83	208	139	347
友人関係	32	20	26	51	58	71	129
家庭・子育て	68	54	95	76	163	130	293
心身の健康	111	87	218	150	329	237	566
発達障害	100	97	147	120	247	217	464
非行・不良	6	19	14	28	20	47	67
暴力行為	0	0	1	0	1	0	1
虐待	1	0	0	0	1	0	1
体罰	15	2	1	3	16	5	21
学校と教職員	32	22	20	47	52	69	121
その他	37	5	6	2	43	7	50
計	625	605	965	1,188	1,590	1,793	3,383
種別計	1,230		2,153				



③ 校種別（電話・面接別）

校種	電話		面接		計		
	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月	総計
未就学	45	19	88	59	133	78	211
小学校	315	340	605	749	920	1,089	2,009
中学校	138	158	171	325	309	483	792
高等学校	75	69	82	42	157	111	268
その他	52	19	19	13	71	32	103
計	625	605	965	1,188	1,590	1,793	3,383
種別計	1,230		2,153				

(2) スクールソーシャルワーカー（SSW）の活動

スクールソーシャルワーカー（SSW）とは、社会福祉の専門的な知識や技術を活用し、主に学校現場で活動する福祉の専門職である。SSWは支援を必要とする子どもの背景要因を把握し、様々な機関と連携しながら子どもをとりまく環境に働きかけ、課題の改善、解決に向けた支援を行う。

（令和元年度）

SSW配置人数	6名
SSWが関わった学校数	40校
SSWが扱ったケース数	244件

(3) 匿名報告アプリ

匿名報告アプリ（ストップイット）は、生徒たちが匿名でいじめ等の報告を教育委員会にできるアプリで、いじめを見つけた生徒やいじめに苦しんでいる生徒がいつでも、どこでも相談できる環境を提供するもの。

① 事業開始日

令和元年10月1日

② 登録数

188件

③ 対応件数等

対応件数	118件
対応済	81件
対応中	37件
対応回数	1,438回

④ 対応内容

内容	件数
テスト送信	49 件
いじめ	13 件
学校に関すること	22 件
自分や家族に関すること	9 件
友達に関すること	18 件
その他	7 件
合計	118 件

(4) 不登校対策推進事業

不登校児童生徒に対して、こども自立支援員等が学校や家庭を訪問し、個々の実態に応じた教育相談や生涯学習プラザ等を活用したサテライト教室、学校での別室指導を行い、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等を図る。また、長期欠席・不登校児童生徒の自主性・自立性の改善、向上を目指す体験活動を実施する。

(5) ハートフルフレンド

不登校やひきこもり傾向、学校の別室等に登校している児童生徒等に対して、不登校の解消に情熱と理解を有する大学生や社会人をボランティアとしてその家庭や学校等に派遣し、当該児童生徒とのふれあいを通じて自主性や社会性の伸長を援助する。

(6) 教育支援室（ほっとすてっぷ）

不登校児童生徒一人ひとりと向き合い対応していくには、学校以外の学びの場の保障と親を含めた支援者との連携が、これまで以上に重要となってきた。そのため教育支援室「ほっとすてっぷ EAST」を運営するとともに、特色ある教育支援室「ほっとすてっぷ WEST」のモデル事業を行う。教育支援室が不登校児童生徒にとって学校以外の学びの場及び居場所となるとともに、段階的な社会的自立をめざす場となるよう運営する。また、不登校について考える「不登校の子をもつ親のつどい」を実施する。

- \* 「教育支援室」(ほっとすてっぷ EAST) 尼崎市若王寺 2-18-6 (いくしあ内)  
(月～金曜日は午前 9 時 30 分～午後 3 時。土日・祝日・年末年始・振替休日除く)
- \* 「教育支援室」(ほっとすてっぷ WEST) 尼崎市水堂町 2-35-1 (地域総合センター水堂)  
(月～金曜日は午前 10 時 00 分～午後 2 時 30 分。土日・祝日・年末年始・振替休日除く)

(7) 民間団体との連携

不登校児童生徒の支援を行う民間団体と学校・教育委員会との連携促進の機会を設け、相互理解や連携の在り方等について協議する。また、連携を深めることで不登校児童生徒の多様な学習等の機会や居場所づくりを促進させる。

## 8 子どもの育ち支援システムの運用（いくしあ推進課）

子どもの育ち支援センターでは、児童虐待や不登校等の課題や困難を抱える子どもや子育て家庭の支援をしていることから、緊急性が求められる場面や、迅速な対応が求められる場面が発生する。

こうした子どもや子育て家庭を総合的かつ継続的に支援するためには、相談者の主訴と支援対象児、家族とその家庭環境の状況を整理・評価したうえで、適切な支援につなげていく必要があり、いくしあでは、0歳からおおむね18歳までの子どもを総合的かつ継続的に支援するため、子どもの支援歴等の記録を一元的に把握するための電子システム（子どもの育ち支援システム）を令和元年10月から本格運用している。

子どもの育ち支援システムでは、子どもや子育て家庭の支援に必要な情報（住所や世帯構成、福祉サービスの利用状況、就園先、通学先など）を、庁内の各課のシステムから連携提供を受けており、子どもの育ち支援センターの職員は、子どもと子育て家庭への支援に必要な情報を横断的に把握し、相談や支援内容を児童情報やケース情報として、登録・更新している。

運用にあたっては、顔認証を加えた2要素認証システムの導入やアクセスログの管理や職員研修の実施など、個人情報の管理を徹底し、セキュリティ対策を講じている。

（「尼崎市子どもの育ち支援条例」（平成21年12月18日条例第41号））

## 9 その他（いくしあ推進課）

### （1）いくしあシンポジウム

あまがさき・ひと咲きプラザグランドオープニングイベントに合わせ、児童虐待や不登校、発達障害など、日々の暮らしのなかで課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭を支え、どのように“子どもファースト”なまちにしていくか、子どもに関わる方々と一緒に考えるシンポジウムを開催した。

開催日：令和元年10月19日（土）

場所：尼崎看護専門学校 3階 大教室

参加人数：136人

#### <基調講演>

テーマ 「子どものSOSを見逃さない」 私たちにできること

山田不二子氏（認定NPO法人チャイルドファーストジャパン理事長）

#### <パネルディスカッション>

【コーディネーター】

才村 純氏（東京通信大学人間福祉学部教授）

【シンポジスト】

高祖常子氏（認定 NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク理事）  
 山田不二子氏（認定 NPO 法人チャイルドファーストジャパン理事長）  
 稲村和美（尼崎市長）  
 大東寧代（尼崎市参事）

(2) いくしあオープン会議

いくしあ開設にあたり、子どもや子育て家庭に係る課題を正しく理解し、いくしあを応援する輪を広げ、地域の方、子育て支援家庭及び子どもの育ちに関わる支援者・関係者など、誰もが参加でき、自由に意見交換・情報交換を行える場としていくしあオープン会議を開催した。

開催日 : 令和元年6月27日（木）  
 場所 : すこやかプラザ 多目的ホール  
 参加人数 : 44人

(3) いくしあ専門家会議

課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に寄り添い、切れ目のない支援を行っていくため、いくしあオープン会議で出された内容やいくしあの事業運営等について、専門家等を意見交換を行い、課題解決に向けて検討を行う場として、いくしあ専門家会議を2回開催した。

	第1回	第2回
開催日	令和元年9月2日（月）	令和2年2月27日（木）
開催場所	すこやかプラザ 多目的ホールC室	いくしあ内 おりーぶ
出席者数	委員10名	委員9名

(4) ネットワーク構築事業

子どもの育ち支援センターの開設にあたり、関係機関や地域・社会資源とのスムーズな連携ができるようネットワークを構築するため、各つどいの広場・認可外保育施設・児童ホーム・社会福祉協議会・私立保育所・認定こども園・小規模保育施設・幼稚園等を訪問し、各施設とのハブ機能の強化を図った。

<訪問実績>

(平成30年度)

第1次 平成30年5月14日(月) 6月29日(金)まで(保育施設・幼稚園)

第2次 平成30年7月23日(月) から8月24日(金)まで(小・中・高等学校)

分類	私立	市立	合計	訪問済	達成率	訪問未済	訪問不要
保育所(園)	(注1) 62	21	83	79	95%	0	4
認定こども園	14	—	14	13	93%	0	1
小規模事業保育所	(注2) 23	—	23	22	96%	1	0
幼稚園	14	9	23	19	83%	1	3
小学校	—	41	41	41	100%	0	0
中学校	—	18	18	16	89%	2	0
高等学校	—	3	3	3	100%	0	0
総計	113	92	205	193	94%	4	8

(注1) 62施設うち分園5施設を含む

(注2) 23施設うち分園2施設を含む

(令和元年度)

令和元年5月13日(月) から8月21日(水)まで

分類	施設数	訪問済	他施設と 共通	合計	達成率	訪問不要
つどいの広場等	11	10	1	11	100%	0
認可外保育施設	25	16	8	24	96%	1
民間児童ホーム	19	13	6	19	100%	0
市 児童ホーム	1	1	0	1	100%	0
社会福祉協議会	6	6	0	6	100%	0
法人保育園 (認定こども園含む)	10	2	1	3	30%	7
小規模保育施設	10	9	1	10	100%	0
私立幼稚園 (認定こども園含む)	4	2	1	3	75%	1
中学校	2	0	0	0	0%	2
総計	88	59	18	77	88%	11

(5) 市政出前講座等

「尼崎市子どもの育ち支援センターについて」	1回(いくしあ推進課)
「児童虐待について」	4回(こども相談支援課)
「発達障害の基礎知識と子どもへの関わり方」	4回(発達相談支援課)
「子どもとの関わり方について」	1回(こども教育支援課)
「不登校について」	6回(こども教育支援課)

## 10 まとめ

令和元年10月の子どもの育ち支援センター「いくしあ」を開設するにあたって、平成27年度の庁内検討会における、子ども・子育て支援センター機能の構築に係る検討を皮切りに、翌年度にはこどもの育ち支援センター準備担当を設置、「尼崎市における子どもの育ち支援・青少年施策の今後の方向性について」を策定した。そのほか、尼崎市民の皆様のご意見や子ども子育て審議会での審議内容、関係機関との協議も踏まえながら、開設に向けての準備を進めてきた。

「いくしあ」の周知では、平成30年度からネットワーク構築事業を展開し、小中高校、保育施設幼稚園等252箇所を訪問して事業内容の説明を行い、理解を深めていただくとともに、取組に対してご意見を頂戴してきた。

そのなかで、当所に期待されておられることや、日々子ども・保護者と接する中での困りごと、意見などもいただいております。ご期待やご意見に答えていきたいという思いがあるものの、当所が発揮できる能力には一定の限界があり、子ども子育てに関する悩みや不安に寄り添って、一緒に考えていくには、いくしあ自らの機能・特長を十分に理解しておくだけでなく、関係機関の得意分野を知り、伴走しながら丁寧につないでいくこと、また、支援機関と顔の見える関係性を構築することの重要性を理解する大切な機会となった。

開設後には日々の相談支援業務にあたり、子ども達のそれぞれの育ちにどう関わっていけるのかを、職員一人ひとりが考え、職員相互に問い続けることで、現在の形となっている。

文字どおり、いくしあのコンセプトである縦の連携、横の連携、子どもファーストが、実現され、子どものすこやかな育ちを支援できると信じて、子育ての不安感や悩みを抱える保護者の方々に寄り添い、支援がしっかりとどくよう、職員がそれぞれの役割を果たす努力している。

いくしあ各課が行っている事業を概観すると、まず、窓口である子ども子育て総合相談では、身近な子育て相談から専門的な相談まであらゆる困りごと等に寄り添い、助言や情報提供、必要に応じていくしあ内の専門職員や関係機関につなぐことを目的にしており、開設から半年で806件の新規相談が寄せられた。市報あまがさきへの掲載やシンポジウムの開催、ネットワーク構築事業などによる周知効果が奏功したものと考えている。

また、相談内容のうち、性格行動相談、言語発達障害相談、発達障害相談が多くなっており、発達課題に取り組む相談支援機関としても認知されてきたことが影響しているものと考えられる。

今後も子ども子育て家庭の身近な相談窓口としての機能を果たすとともに、適切に支援をつないでいけるよう、専門的かつ多角的な視点を用いて、相談のひとつひとつにしっかり寄り添いながら、対応していきたい。

次に、家庭児童相談では、要保護児童地域対策協議会の調整機関としての役割も担っており、開設前から児童虐待の早期発見、早期対応にあたっており、業務内容に大きな変化はない。しか

し、各担当が行っている事業の中から虐待の発見につながった結果、虐待の通告件数が増加し、虐待の早期発見・早期対応につながっている。各担当や関係機関と連携しながら実際の支援を実現するなかで、虐待予防につなげていく。

発達相談支援では、138 人の診察を行った。年齢で分類したところ、就学後の相談が 73% (うち小学生 59.5%) を占めた。いくしあ開設前から主な対象としている4、5歳児において、発達に特性のある子どもを早期に発見し、対応していくためにはどう取り組んでいけばよいのかを今後考えていく必要がある。

こども教育支援では、これまでの電話相談・面接相談に加え、「いくしあ」開設に合わせて「匿名報告アプリ活用事業」を開始し、子どもたちがスマートフォン等を利用して気軽に相談できるシステムを導入したことで相談件数が増加した。また、不登校児童生徒の学校以外の学びの場として教育支援室の運営を行い、子どもひとりひとりに応じた支援に努めている。

いくしあ開設後の相談対応の実績を捉えることができたが、子どもと保護者や関係機関が相談を持ち掛け、いくしあが関わることで、子どもと子育て家庭に有用な変化があったのか捉えることに至っておらず、今後の検討事項としていく考えである。

最後に、成果の一端として令和元年 12 月に実施した来所者アンケート(22 ページ以降)の結果を振り返ると、ハード面・ソフト面とも高い満足感が得られており、当所の職員ひとりひとりが、いくしあにつながった方に満足感を感じてもらっていることに自信をもらい、達成感を得ることとなった。こうした結果をひとつのモチベーションとして、子ども家庭総合支援拠点としての機能を十分に発揮し、子ども子育て家庭の個別事情に寄り添った支援を一層充実させていきたい。

【参考】

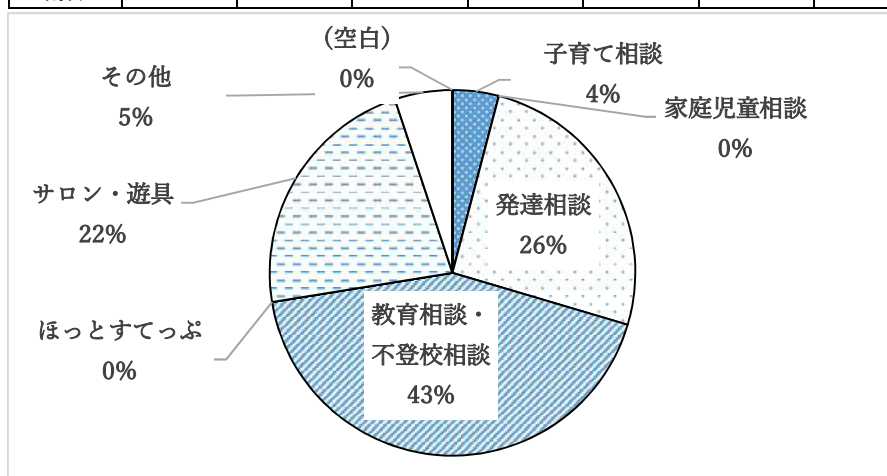
1 いくしあ来館者アンケート調査結果

回収数：98 枚

調査期間：令和元年12月（1ヵ月間）

Q1 今日主にどちらのご用件で来所されましたか。（1つにチェックを）

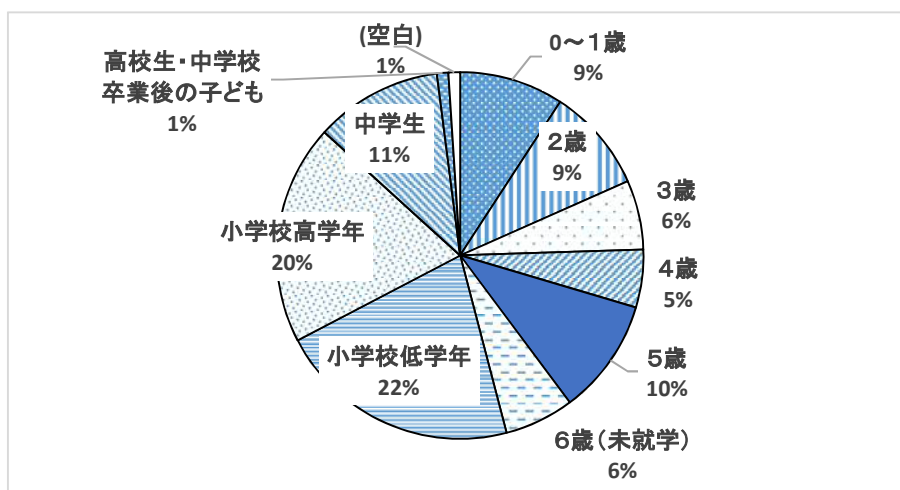
	子育て相談	家庭児童相談	発達相談	教育相談・不登校相談	ほっとすてっぷ	サロン・遊具	その他	(空白)	総計
回答者	4	0	25	42	0	22	5	0	98
割合	4.1%	0.0%	25.5%	42.9%	0.0%	22.4%	5.1%	0.0%	100.0%



Q2 対象となられるお子さまの年齢は何歳ですか。

ア ご用件で来られたお子さま(1つにチェックを)

	0～1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳(未就学)	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生・中学校卒業後の子ども	(空白)	総計
回答者	9	9	6	5	10	6	21	19	11	1	1	98
割合	9.2%	9.2%	6.1%	5.1%	10.2%	6.1%	21.4%	19.4%	11.2%	1.0%	1.0%	100.0%





イ 付き添いで来られたお子さまがいらっしゃる場合はそのお子さま(複数可)

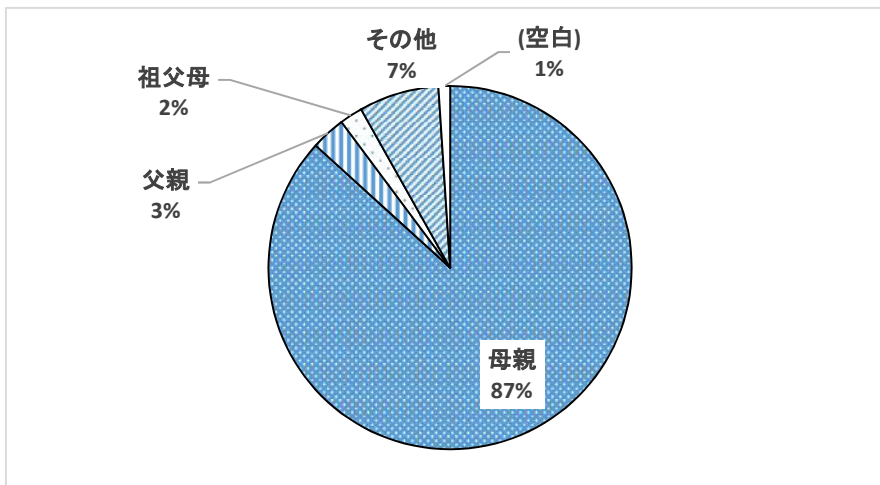
	0~1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳(未就学)	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生・中学校卒業後の子ども	(空白)	総計
回答者	5	2	2	3	2	1	4	1	0	1	77	98
割合	5.1%	2.0%	2.0%	3.1%	2.0%	1.0%	4.1%	1.0%	0.0%	1.0%	78.6%	100.0%

イ (付き添い2人目分) 付き添いで来られたお子さまがいらっしゃる場合はそのお子さま(複数可)

	0~1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳(未就学)	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生・中学校卒業後の子ども	(空白)	総計
回答者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	97	98
割合	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	99.0%	100.0%

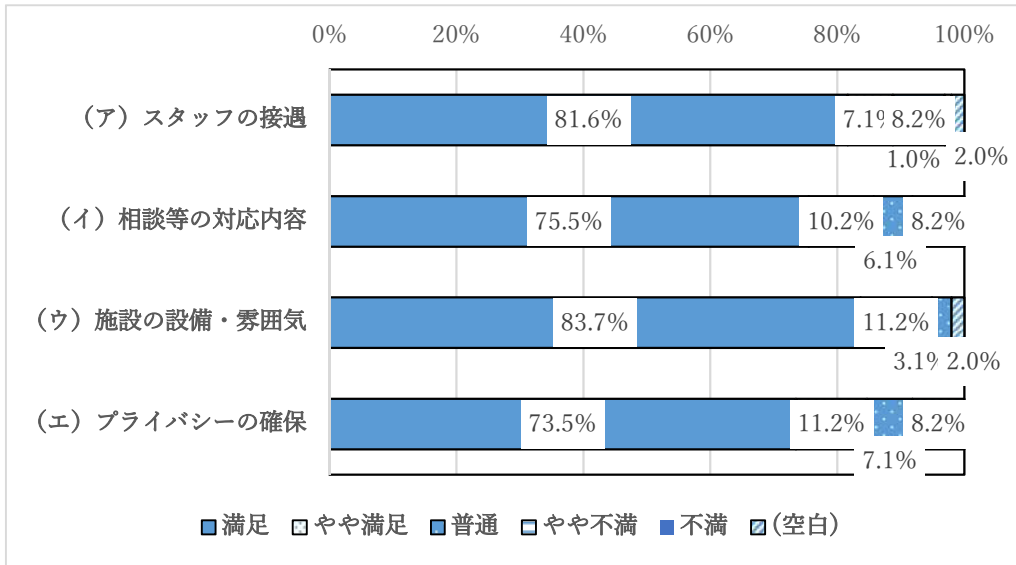
Q3 このアンケートのご記入者(あなた)は、対象のお子さまから見て、どなたですか。(1つにチェックを)

	母親	父親	祖父母	その他	(空白)	総計
回答者	85	3	2	7	1	98
割合	86.7%	3.1%	2.0%	7.1%	1.0%	100.0%



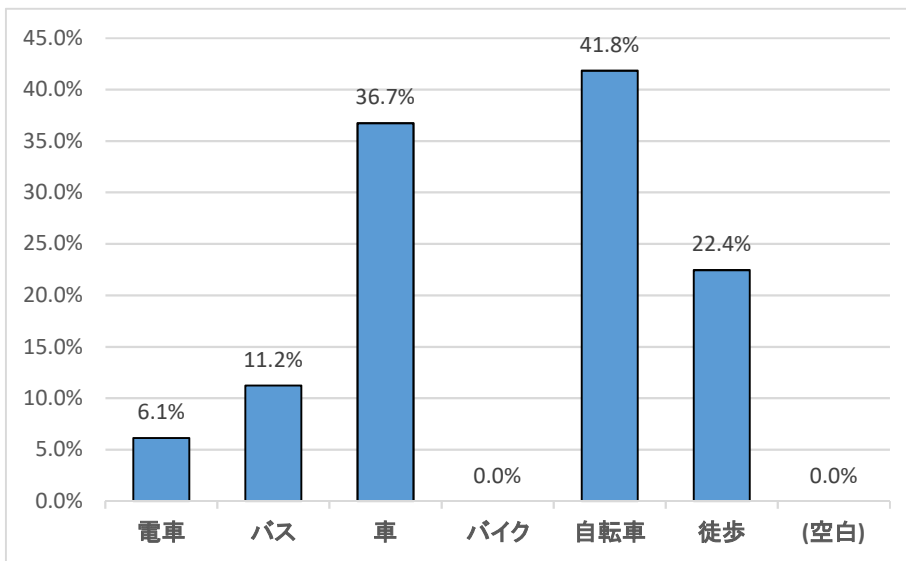
Q4 今日の満足度をお聞かせください。各項目ごとにお答えください。(数字に○印)

回答者	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	(空白)	総計
(ア)スタッフの接遇	80	7	8	1	0	2	98
(イ)相談等の対応内容	74	10	6	0	0	8	98
(ウ)施設の設備・雰囲気	82	11	3	0	0	2	98
(エ)プライバシーの確保	72	11	7	0	0	8	98
割合	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	(空白)	総計
(ア)スタッフの接遇	81.6%	7.1%	8.2%	1.0%	0.0%	2.0%	100.0%
(イ)相談等の対応内容	75.5%	10.2%	6.1%	0.0%	0.0%	8.2%	100.0%
(ウ)施設の設備・雰囲気	83.7%	11.2%	3.1%	0.0%	0.0%	2.0%	100.0%
(エ)プライバシーの確保	73.5%	11.2%	7.1%	0.0%	0.0%	8.2%	100.0%



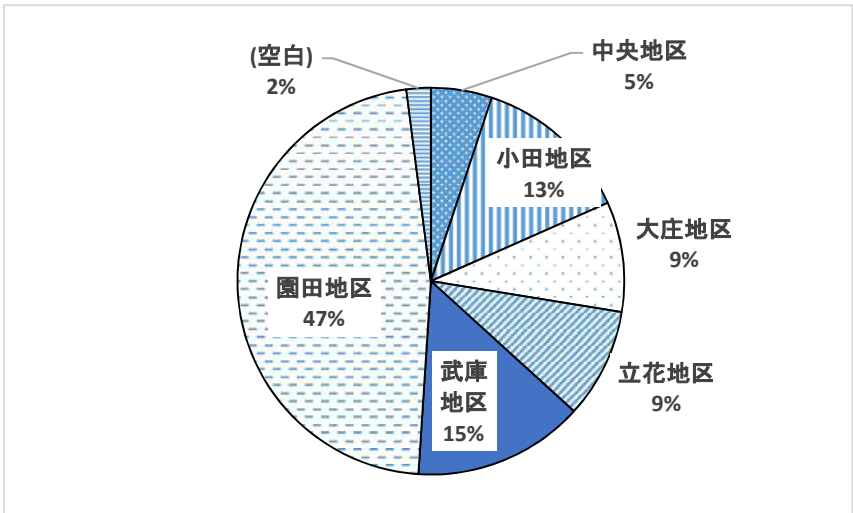
Q5 今日の交通手段は何ですか。(あてはまるものすべてにチェックを)

	電車	バス	車	バイク	自転車	徒歩	(空白)	総計
回答者	6	11	36	0	41	22	0	98
割合	6.1%	11.2%	36.7%	0.0%	41.8%	22.4%	0.0%	100.0%



Q6 お住まいの地区はどちらですか。

	中央地区	小田地区	大庄地区	立花地区	武庫地区	園田地区	(空白)	総計
回答者	5	13	9	9	14	46	2	98
割合	5.1%	13.3%	9.2%	9.2%	14.3%	46.9%	2.0%	100.0%

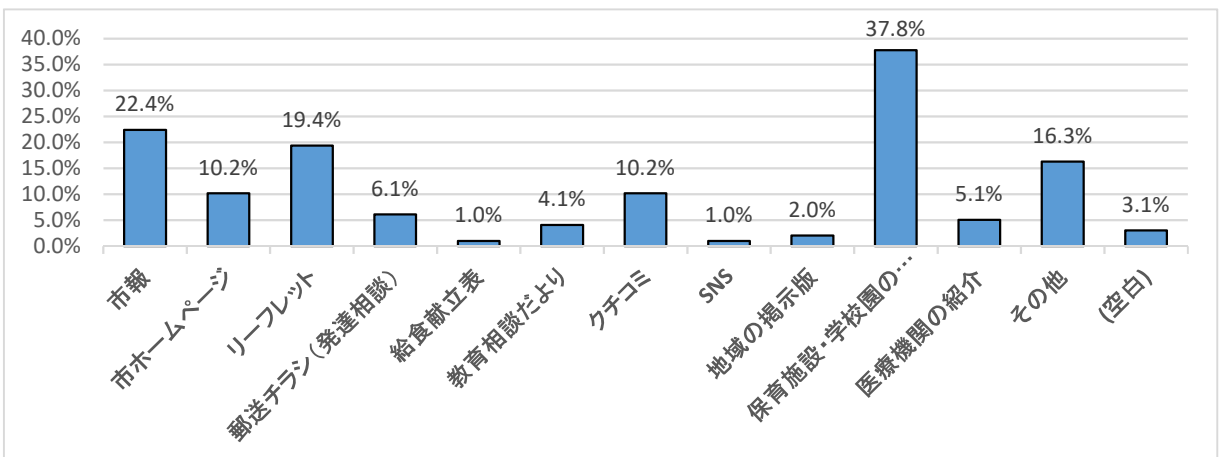


(参考) 来所用件別居住地区

回答者	中央地区	小田地区	大庄地区	立花地区	武庫地区	園田地区	(空白)	総計
子育て相談	0	1	0	0	1	1	1	4
発達相談	2	7	4	2	1	9	0	25
教育相談・不登校相談	3	3	5	6	11	14	0	42
サロン・遊具	0	0	0	0	0	21	1	22
その他	0	2		1	1	1	0	5
割合	中央地区	小田地区	大庄地区	立花地区	武庫地区	園田地区	(空白)	総計
子育て相談	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	100.0%
発達相談	8.0%	28.0%	16.0%	8.0%	4.0%	36.0%	0.0%	100.0%
教育相談・不登校相談	7.1%	7.1%	11.9%	14.3%	26.2%	33.3%	0.0%	100.0%
サロン・遊具	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	95.5%	4.5%	100.0%
その他	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%

Q7 「いくしあ」のことはどこでお知りになりましたか。(あてはまるものすべてにチェックを)

	市報	市ホームページ	リーフレット	郵送チラシ(発達相談)	給食献立表	教育相談だより	クチコミ	SNS	地域の掲示版	保育施設・学校園の紹介	医療機関の紹介	その他	(空白)	総計
回答者	22	10	19	6	1	4	10	1	2	37	5	16	3	98
割合	22.4%	10.2%	19.4%	6.1%	1.0%	4.1%	10.2%	1.0%	2.0%	37.8%	5.1%	16.3%	3.1%	100.0%



## 【自由記述】

### Q1 来所用件

- ・遊びの広場を利用させてもらってます
- ・研修
- ・ティーチャートレーニング
- ・ティーチャーズトレーニング
- ・今後相談することを考えてどんな所か見学したかったため

### Q3 記入者

教員、担任、保育士、当事者

### Q7 媒体

- ・以前教育相談うけていたので
- ・ご近所の人に聞いて
- ・学校
- ・友人に教えてもらいました。
- ・通りがかりで、警備の方に(遊び場があるから)中に入れるとお聞きして。
- ・以前より教育センターに行っていました。
- ・小学校
- ・友人の紹介
- ・以前から教育相談に通っている為
- ・小学校よりすすめられて
- ・仕事上の情報
- ・友人
- ・通りがかり
- ・小児科、キャンディ
- ・知人の紹介
- ・保健師さんの紹介
- ・保健師さんからの紹介
- ・管理職より案内
- ・校長会を通じて校長より紹介
- ・近所だったので…
- ・前の建物から移転する時にたんとうの人から聞きました。
- ・以前より教育相談を利用していた為

### Q8 自由記述：意見・要望

- ・話を聞いてもらえると気分が少し軽くなります。一緒にどうしたらいいかの方法を考えて下さったり出来た時は、一緒に喜んで頂いたり気持ち的にすごく助かります。
- ・最寄駅からバス1本で来れたら嬉しい。
- ・別に無しです。
- ・もうすこし、外に遊具ができると嬉しいです。
- ・教育相談室と、待ち合いは同じ階にしてほしいです。中庭に緑が欲しいです。
- ・遊ぶスペースがもう少し広がったらいいなあと思います。
- ・これからもよろしくお願いします。
- ・いつもお世話になっています。子供が、いつも来るのをすごく楽しみにしています。
- ・基本、療育をしていないお子さん向けだという事ですが、気軽に療育をしているお子さんでも相談できるようなくみがあればいいなと思いました。(18才ぐらいまで対応してくれる所がすばらしいと思っているので、先を見こして相談できればと思いました)
- ・通うのにとっても不便。送迎バスとか出てほしい。イヤがる子どもをよけいに連れて来にくくなった。困る。

- ・楽しく使わせてもらって助かっています。
- ・いつも、解放して下さい、助かっています。スタッフさんも遊んで下さるし、ありがとうございます。
- ・相談した子は1人目なので、分からない事ばかりで親としての対応も、良くないのでは？と不安だったので、優しい対応をしてもらえて良かったです
- ・特にありません。
- ・いつも楽しく利用させていただいています。職員の方も気さくな方ばかりです。子育て等の悩み事がある時はよろしく願います。
- ・イベント等、子育てに関連するものがあれば是非参加したいです。
- ・素敵な場所だと思います。悩みがあっても、肩の力が抜ける雰囲気と、スタッフさんの笑顔にかなり助けられた気持ちになりました。
- ・姉妹で遊び場お世話になってます。
- ・子どものイベント(小さい子向け)などしてほしい。
- ・1度では、なく何度かこさせて頂けたら、良かったです。
- ・きれいで、スタッフの先生方も丁寧に对应して安心感があります。我が子も相談させていただいて、ありがたいです。ただ、場所が遠く足がむきにくい所があります。
- ・毎回、とても勉強になり、次の日から早速子どもに試してみています。子どもの見方が変わりました。
- ・発達相談を市役所でするのはとても敷居が高い気がして何うことがなかったのですが、こちらにおじゃました際とても良かったので来させて頂いています。皆さん優しく子供と一緒に遊んで頂いたり、いくしあに行きたい！と言っていました。
- ・発達のことで、色々わからない事や、不安なところもたくさんありますので、今後とも、よろしく願います。
- ・近くの施設でもあるので。色々相談させて頂ければと思います。つながりをしっかりもって、保ゴ者の方や子どもたちへの関わりができたらいなと思います。
- ・近くに素敵な施設ができて、嬉しいです。たくさんお話をきかせて下さって、勉強になりました。
- ・安心して相談できる場ができて心強く思います。清潔で、スタッフの方も安心感のある優しい対応をして頂いてありがとうございました。
- ・1Fフロアで子ども達があそぶ声を何度か注意を受けました。その度に注意はしましたが、子どもがあそぶ場所ですずかにするようにと注意することはなかなかむずかしいなと感じました。
- ・子供に静かにと言うのは無理があると思います。
- ・食事をするスペースがかなり気をつかうので、もし開放するのであれば、飲食専用の部屋をご用意頂きたいです。相談を受ける施設としてだけでなく、もう少し子供達があそべるスポットとしても利用できればうれしいです。
- ・特になし。





